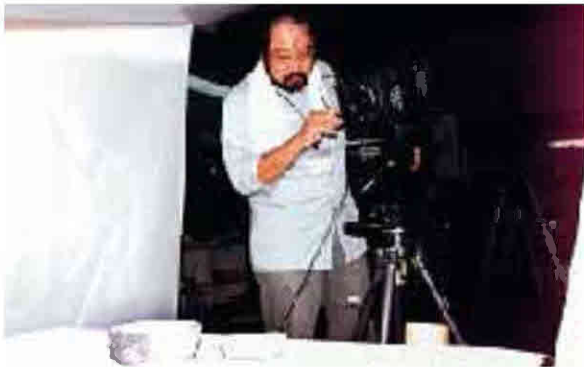


文化財関係研修の実施

発掘技術者専門研修「文化財写真課程」

「文化財写真課程」は、8月20日から9月20日の日程でおこないました。写真のいろはから始め、外注・内部処理を含めて業務に役立てて頂こうという研修です。

例年、二桁の参加者がいましたが、本年は参加者数が7名と講師陣の総勢よりも少なく、まさに「マンツーマン」、中身の濃い研修となりました。とはいうものの、長期の研修は派遣が難しい場合も多く、考え直す検討が必要です。



遺物撮影実習

実際に出土遺物を使用して大判カメラによる遺物撮影実習をおこなっています。中には初めて大判カメラに触れる研修生もあり、四苦八苦しています。



暗室処理実習

撮影したフィルムは各自現像・焼き付けをおこない、実際に図版レイアウトまでおこないます。

[講義題目] () 内は外部講師

小型カメラの基礎知識(東 義彦)、
大型カメラの基礎知識(杉浦秀昭)、
感材の基礎知識(村井敏男)、
デジタル写真の基礎知識(川瀬敏雄)、
埋蔵文化財写真の基礎知識、報告書と写真図版、
遺物撮影の基礎知識、暗室処理の基礎知識、
美術工芸品の撮影(金井杜男、勝田 徹)、
遺跡撮影の実際(幸明綾子、村井伸也)、
遺物撮影ライティングの基礎(玉内公一)、
遺跡遺物撮影・暗室処理実習、暗室・スタジオの設計、
製版・印刷の基礎知識(宮内康弘)、
写真画像の評価と判定(井本 昭)
(平城宮跡発掘調査部 中村一郎)